

平成29年第4回

仙南地域広域行政事務組合
教育委員会定例会会議録

平成29年11月27日開議

平成29年第4回仙南地域広域行政事務組合教育委員会会議録

1. 召集日時 平成29年11月27日（月） 午前10時
2. 召集場所 仙南芸術文化センター会議室
3. 出席委員 教育長 船迫邦則，委員 佐藤よし美，委員 佐山富夫，委員 菅原紀治
委員 大沼吉朗
4. 説明のため出席した者
教育次長兼仙南芸術文化センター館長 水戸雅彦
主幹兼教育係長兼文化振興係長 黒澤良，仙南芸術文化センター次長 玉淵博之
5. 開 会 午前10時

6. 平成29年第1回教育委員会臨時会会議録の承認について

船迫教育長	会議録について承認を求めます。
(質 疑)	<ありません>との声
船迫教育長	質疑ないものと認め、会議録を承認します。

7. 会議録署名委員の指名

船迫教育長	私のほか、佐山委員にお願いいたします。
佐山委員	はい。

8. 諸報告

報告第1号 仙南地域広域行政事務組合教育委員会教育長の就任について

仙南地域広域行政事務組合教育委員会教育長の任命について、平成29年10月30日、当組合第236回議会定例会において、船迫邦則柴田町教育委員会教育長を任命することに同意を得たことをご報告申し上げます。なお、任期は平成29年10月30日から平成30年5月26日までである。

(質 疑)	<質疑なし>
船迫教育長	仙南地域の教育の活性化に向けて皆さんの力を借りながら。モットーは笑顔で。どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

報告第2号 仙南地域広域行政事務組合教育委員会委員の就任について

仙南地域広域行政事務組合教育委員会委員の任命について、平成29年10月30日、当組合第236回議会定例会において、大沼吉朗川崎町教育委員会教育長を任命することに同意を得たことをご報告申し上げます。なお、任期は平成29年10月30日から平成31年3月31日までである。

(質 疑)	<質疑なし>
大沼委員	大沼吉朗と申します。川崎町出身なんですけど、仙台市管内で教員をしていました。いつかは大河原管内に出向することもあるのかと思っていましたが、それもなく、県北や海の方に出向してました。そのことは残念には思っておりますが、こちらの方ではなかなか知り合いが少ないところではありますが、今回、教育委員になりましたので、よろしくお願ひします。

報告第3号 平成29年10月から同年11月までの主な事業等の経過について

教育委員会事業について、黒澤主幹よりご説明申し上げます。

仙南芸術文化センター事業について、玉渕次長よりご説明申し上げます。

(質 疑)	
船迫教育長	アウトリーチ事業の会場のところの欄の「大河原中学校（大河原5），川崎中学校（川崎2）」と書いてあるのは市町での回数でいいですか。同じ学校に5回，2回ということですか。
玉 渕 次 長	基本的には市町に行った回数という事になっています。なるべくいろんな学校に回ることにしているので，ほとんどの学校で被ることはないです。
船迫教育長	はい。そのように捉えていただければと思います。
	<質疑なし>

9. 議事

議案第1号 平成30年度仙南地域広域行政事務組合視聴覚教育事業計画（案）・仙南広域圏の振興発展に資する事業計画（案）について

黒澤主幹より別紙資料3にてご説明申し上げます。

(質 疑)	
船迫教育長	5ページの仙南ふるさとCMグランプリですが，「CM」と聞くとどうしてもコマースシャルのイメージがあるので，Cのあとに小文字のoを付けて，Mのあとに小文字のeを付けて，カムと読ませてコミュニティーメディアがイメージできるように。カムということでもどどん作品来てくださという意味合いも込めたら，いかがかなと思っていました。
黒 澤 主 幹	どうしてもテレビのコマースシャルのイメージが強いので，それだと非常にわかりやすく。直して開催することを検討したいと思います。
教 育 次 長	確認ですが，C o - M e。
船迫教育長	イメージとしてはC o M e（カム）と読ませるためにハイフンは入れない方がいいかなと思っておりました。
菅 原 委 員	機材の貸出は，今年度はどのくらいの件数があったんでしょうか。
黒 澤 主 幹	プロジェクターは14台ありまして，いつもどこかで利用されている状況でございます。学校の学習発表会や研究大会等でまとめて3，4台を利用されているときもございます。日々の利用の記録が積み重なっているデータがパソコンの中に入っているのですが，今すぐにここでは数字を申し上げられないので，後で報告いたします。
大 沼 委 員	16ミリフィルムなんですけど，貸出しもあって，機材もあると思うんですけど，どれくらいの数があるものなんですか。
黒 澤 主 幹	今のところ，16ミリフィルム教材については300巻ほど保有しております。古くなったメディアではあるんですけど，児童館，保育所，幼稚園の先生方が，やはり16ミリフィルムじゃないと，子どもたちが集中して見ないということで，そういった方々が限定的に利用されている状況です。今あるぶんしかないんですけど，その中で比較的新しいアニメーション作品等を主に利用されています。

大沼委員 黒澤主幹	<p>これをDVD化して、プロジェクターで使えるようにすることはできるんですか。もちろんできるんですが、当センターでは2市7町に貸出と上映ができる権利を買っております。DVDにダビングする場合は、新たに複製権を買う必要があります。16ミリフィルムは1巻あたりの元々の値段が高いため、ダビングするとかなり高額な費用がかかると思われます。それをやって、利用が増えればもちろん良いことですが、各市町村の予算が厳しいところで、部会の先生方で、今必要な教材や今後必要になってくる教材をDVDで整備した方が利用があるという話もありまして、決して16ミリが悪いわけではないのですが、対比して考えると現在のやり方で利用していただいて、DVDを予算の範囲内でできるだけ多く整備していきたいと思っております。</p> <p>先程の菅原委員の質問であった、利用回数が出ました。DVD教材が414回、VHS教材が65回、16ミリフィルム教材が55回、紙しばい教材が101回、シアター教材が58回、液晶プロジェクターが284回、スクリーンが95回、DVDプレイヤー等が43回、ビデオカメラが3回、ビジュアルプレゼンターが6回、スピーカーセットを含むその他の機材が128回の利用がありました。</p>
	<質疑なし>

議案第2号 平成30年度仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター事業計画(案)について

水戸教育次長より別紙資料4にてご説明申し上げます。

(質 疑)	
佐山委員	<p>アウトリーチだと思うんですが、中身を見ると、大変素晴らしくて魅力的なものなんですが、私が心配しているのは、日本人の伝統芸能や和楽についてで、それをできればアウトリーチみたいな形で、子どもたちに魅力を伝える何かを設定をしていただければと思っております。今の地域の伝統芸能、例えば角田の神楽等、継承していく方がものすごく困っているんですね。少子化の問題が一番なんでしょうけど、それらをサポートしていくようなことができないかなと思っております。伝統芸能というのは、中学校くらいだと好き嫌いが出てしまって、最初の段階で受け入れられないことがあるので、できれば好き嫌いが始まる前の幼稚園の頃から触れてもらえると、そういった芽が出てくるのではないかと思います。検討していただければと思います。</p>
船迫教育長 教育次長	<p>日本の文化、音楽についてのアウトリーチはいかがですか。</p> <p>様々な伝統文化の団体がありまして、えずこホールで講演をやっている団体もありますが、地域の伝統芸能は、どの地域にもありまして、後継者不足で悩んでいることはどこの場所でも聞いている話であります。特に東日本大震災の以降なんですが、実は伝統芸能の復興という動きが強くあります。特に沿岸部では伝統芸能の衣装や機材が流されてしまったんですが、伝統芸能が継承されないということになると地域のアイデンティティがなくなるという危機感があって、各地域で復興に向けて動いております。これはとても大切だと思っておりますけれども、各地域で継承されてきた伝統文化をその地域内の子どもたちに継承していく流れが重要だと思っております。その場合、えずこホールがどのように関わっていけばいいのか、微妙な問題がありますので、まずは各市町での様々な状況を教えて</p>

教育次長	いただきながら、何か可能性としてできるものがあれば考えていきたいと思っております。いろんな考え方や情報を頂ければと思います。よろしくお願いします。
船迫教育長	柴田町では地域の方がDVDにおさめて、継承していこうとしています。人がいないときでも、それをどこかで見ることで繋がる可能性を残していきたいと思っています。それを小学校等で活用してもらえれば、なお良いなと思っています。
佐山委員	小さい頃からきっかけを与える、それを指導してくれるプロの指導者の育成をどこかでしなくちゃいけないと思います。今、地域で継承している方々は民間の方々なので、自分でやることはできるが指導まではなかなかできないと思います。子どもの様子を見ながら、こうすればもっと分かってもらえる等まではできていないんですよ。そういうことが元からできる人は少ないんですね。指導できる立場で技術もある人を育てていく必要があるのではないかと思います。地域で太鼓などはやられているんですが、それ以外の楽器はなかなか難しいですね。技術的にできなくても、こういったものの魅力を小さいときに知って、自分の地域にこういうものがあるという気づきを与えていくことが大事だと思います。
玉淵次長	地域で活動されている方々の視点から言うと、そういったことを知ってもらうことが大事だと思います。今年はあずなびあまつりで和太鼓集団に関わってもらって、太鼓の体験型コーナーを設けたんですが、好評でした。地域にはそういった文化がたくさんあって、それを子どもたちや親子に知ってもらいたいという意味では、楽器のテクニカルな部分までにはもちろんいかないんですが、知っていたくきっかけとしては、あずなびあまつりのようなものを使っていただいて、広く知っていただく場を活用してもらえればと思います。
佐藤委員	太鼓でもなかなか経験者がいなくて、例えば齋川では孫太郎太鼓の傳承者がいなくて、地域で練習していてもあまり参加者がいなかったみたいなんです。今回、齋川小学校が白石第二小学校と一緒になるということで、学習発表会に参加したときに、孫太郎太鼓を発表する機会があったんですね。地域だけでなく、他の地域も混ぜて大きく見ていただくというのがすごく良いなと思ったんですね。それを今後は公民館レベルなのか、放課後子ども教室なのか、そこはこれから探っていくところですが、継承していこうという空気が出ていていいなと思いました。
船迫教育長	地域の中での想いはそれぞれあると思います。それをえずこホールとどうリンクできるかを、これから探れればと思います。
	<質疑なし>

1.1. 次回教育委員会定例会の日程について

佐藤教育長	平成30年3月27日午前10時から、次回の定例会を実施いたします。
-------	-----------------------------------

1.2. その他

- 平成29年度仙南地域広域行政事務組合教育費補正予算（第2号）について
水戸教育次長より別紙資料5にてご説明申し上げます。

(質 疑)	<質疑なし>
---------	--------

- 平成 29 年度仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター特別会計補正予算について
水戸教育次長より別紙資料 6 にてご説明申し上げます。

(質 疑)	<質疑なし>
---------	--------

- 平成 30 年度仙南地域広域行政事務組合教育費当初予算 (案) について
水戸教育次長より別紙資料 7 にてご説明申し上げます。

(質 疑)	
佐 山 委 員	らいむ・ネットを廃止したことで予算が減になっていますよね。
教 育 次 長	職員がシステムを作りまして、そこから帳票等も印刷できるようにということで開発をしました。
佐 山 委 員	これは著作権等の問題はないんですか。
教 育 次 長	プログラムを組み合わせたものですので、著作権等は発生しないと思われま
	<質疑なし>

- 平成 30 年度仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター特別会計当初予算 (案) について

水戸教育次長より別紙資料 8 にてご説明申し上げます。

(質 疑)	
佐 山 委 員	平成 29 年度の補正予算でファミリアの不用車売払い代というのがありましたが、それに代わる新しいものは買わないんですか。
教 育 次 長	平成 29 年度内に購入する予定です。ファミリアは廃車にして、売却いたします。
	<質疑なし>

- 仙南ふるさと CM (コミュニティーメディア) グランプリ (第 40 回仙南地区自作視聴覚教材発表会) について

黒澤主幹よりご説明申し上げます。

(質 疑)	<質疑なし>
---------	--------

- AZ 9 ジュニア・アクターズ第 25 回公演について

黒澤主幹よりご説明申し上げます。

(質 疑)	<質疑なし>
---------	--------

13. 閉 会 午後 11 時 52 分

上記の会議の顛末を記録し、その内容が真正であることを証するためにここに署名する。

平成 29 年 11 月 27 日

教 育 長

署名委員